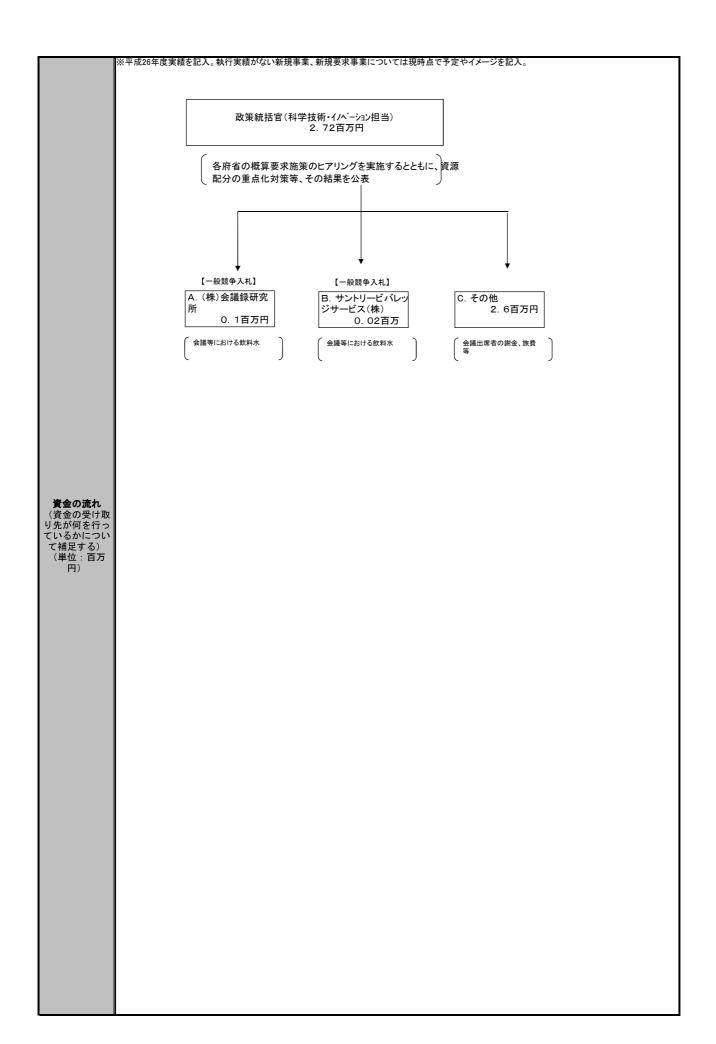
0143

											事業番			0143	
				3	平成 2	7 年度行	政	事業レ	<u> ビュ-</u>	ーシート(		内閣	<u> </u>		)
	事業名	科学技	術関係予算	の改革				担当部	吊庁	→ 政策統括官	——— ベーション担当)		4	<b>「成責任者</b>	
	事業開始年度	平成	18年度		終了)年度	終了予定力	なし	担当	課室	参事官(資源酯	2分担当) ーション戦略推治	<sup>進担</sup> 田	中多	建之 云 讲太郎、林	孝浩
	会計区分	一般会	計			•		政策・	施策名	_					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		科学技術基本法(平7法130)、 内閣府設置法(平11法89)第26条					第4期科学技術基本計画(平成23年8月 日本再興戦略(平成25年6月14日閣議) 科学技術に関する予算等の資源配分の方 通知等 月17日総合科学技術・イノベーション会議 科学技術イノベーション総合戦略2014( <sup>2</sup> 日閣議決定)				閣議決 の方 ・会議	定) 針(平成26 決定)	6年7		
Ì	要政策・施策	科学技	支術・イノ^	ベーション				主要	経費	その他の事項	経費				
(	目指す姿を簡 こ。3行程度以 内)	に配分	し、有効に	活用する。						ーション総合戦略 か、総合科学技術・					
(5	事業概要 5行程度以内。 別添可)	を招聘に取り	し、関係府組む。また	省の概算要す	の内容に		グを行	う。この際	関係府省	省の連携の促進や					
	実施方法	直接実	€施			4/5 55		05 <del>5</del>		c				00/5	
				n マ ⁄==	2	4年度		25年度		26年度	27年			28年度要求	ζ
				刃予算 		6		5		5	4				
		~ #		E予算 		_					-				
	予算額・	予算の状		いら繰越し											
,	<b>執行額</b> (単位:百万円)	況		へ繰越し		_									
,	(年位・日ガロ)			<b>講費等</b>		_					-				
				計 ————		6		5		5	4			0	
		執行額		3			4		3						
		執行率(%)		50%			80%		60%	60%					
	成果目標	<b>東及び</b> !	成果実績	(アウトカム)	欄につい	ヽてさらに記載	が必	要な場合	<b>まチェック</b>	クの上【別紙1】に	こ記載	□ ₹	「エック		
				定量的な目標	票が設定	できない理由				定性的な成績	果目標と24~26	年度の達	成状況	. 実績	
定量的な成果目標	が設定できない理由及び定	関係府省の各年度の概算要求に当たって、科学技術関重点化対象施策の特定を行うものであり、その対象施策度ごとに異なること、及び対象施策数や各省調整数を増ことそのものが目標では無く、各年度の予算の重複排性の調整等により、各府省の予算の質を相対的に向上が目標であるため、一定の数値により成果目標を示するない。					象施5 数を増 複排隊 応上で	乗数は年 記滅させる 余や方向 きせること	すること な成果 もに、同 策の中:		合戦略に定める 対術基本計画 トローアップを行 を確保しつつ、。	効果を確 に基づく施 うことによ り効果的 。平成24年	実に上 策進 り、両 ・効率 F度か	げることを気 歩の全体俯 者を連動させ 的に科学技	を性的 瞰とと せ、政 (術イノ
の設			代替目	標		代替指標			単位	24年度	25年度	26年	度	目標最終	年度
の設定が困難	C1XIII 7 0/-	代替的な 対して予算を重点化 とによって、同総合単		術イノベーション総 対象が に基づく対象施策に アップ		施策に係るフォロー パを行った際、予算の		実績	件	1	1	1			<del></del>
困難な場合	めの代替的な 達成目標及び 実績			合戦略に	果が確認	這点化によって、施策の気 とが確実に上がる見込み 「あるとの結果が得られる		目標値	件	1	1	1		-	
		正と。	が木で作	:大にエリる	<i>かあると</i> こと。	.vノルロ木ルが行ら	1110	達成度	%	100%	100%	100	%		<del></del>
				活動	指標				単位	24年度	25年度	26年	度	27年度活動	動見込
活	動指標及び活 動実績	関係府省の概算要求に当たり、科 ける適切な資源配分の重点化対象 め、各省の施策のヒヤリング等を行 ある。 上述のとおり定量的な目標を設定		化対象が でいる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	象施策特定を行うた 行うことが主な活動で		活動実績	%	▲ 13	▲ 16	<b>A</b> 1	11			
(	アヴトブット)	が、重点化対象施策の予算措置率(政府予算額/概算 要求額)が、政府全体施策における予算措置率に比べ て高い状況にあるか否かをヒヤリングの効果としての予 算重点化達成度を示すものと考え、重点化対象施策の 予算措置率一政府全体施策の予算措置率を評価指標 とする。			比べ の予 策の	当初見込み	-	-	-	-		-			
				算出	根拠				単位	24年度	25年度	26年	度	27年度5	見込
	単位当たり							単位当たりコスト	千円	23.8	31.3	14.	4	24	
	コスト		執	行額/重点	化対象的	拖策数		計算式	経費/回数	3.1百万円/132件	4.2百万円/133件	2.7百万円/1	190件	4.5百万/187件	<u> </u>
_	. <b>म</b> =	計目		27年度当初	予算	28年度要求			山双		 主な増減理由				
J.		謝金		2.6	1 71	20十尺女不					工。石水生田				
W	「オー 委員	等旅費	ŧ.	1.1											
円)(単位:首	8	<b>宁費</b>		0.7											
7.	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	計		4.5		0	$\exists$								

□ 東京の目的は国民や社会のニーズを的雑に反映しているか。 □ ボラウンであり、非主義は、4年3株系イバーニのかは □ 大きのは、19年のは、19年のは □ 大きのは、19年のは □ 大きのは、19年のは □ 大きのは、19年のは □ 大きのは、19年のは □ 大きのは、19年のは □ 大きのは □					事業	所管部局による点検・	改善			
■ 東京の自列は国民や社会の二一ズを的湖に反映しているか。				項 目			評価	評価に関する説明		
関連的法、民間等に表わることができない事業なのか。		事業の目的	は国民や社会のニーズを	的確に反映して	0	科学技術は我が国の豊かさや人々の安全な暮らしの実現 に不可欠であり、本事業は、科学技術イノベーション環境 創出等にも資すること等を目的としており、国民や社会の ニーズを的確に反映している。				
世報を与うでは、「大きなどのできた。」 数数体系の中で後先度の高い 本来か、	費投入の必要	地方自治体	、民間等に委ねることがで	きない事業なの	0	内閣府は、内閣府設置法において科学技術関係予算資源の配分方針に関する企画・立案・総合調整事務を行うことになっており、国が実施すべき事業である。なお、アクションブラン対象施策特定に当たっては、CSTI有識者議員、SIPプロプラムディルクター、複数の専門分野の外部有識者等が一堂に会してヒアリングを行っている。				
要量をの負担関係は実当であるか。  ・			達成手段として必要かつ過	適切な事業か。	0	本事業は、各府省の科学技術関係予算に関し、上記有識者によるヒアリングにより重点化対象等を特定するものであり、メリハリのある資源配分を行う上で非常に重要である。				
単位当たリコスト等の水準は妥当か。		競争性が確	保されているなど支出先の	)選定は妥当だ	) <b>\</b> °		0	複数の業者から見積書を徴取した上で選定するなどし、 競争性を確保している。		
# 位当たりコスト等の水準は受出か。		受益者との	負担関係は妥当であるか。				-	<b>◇季ガレブロッカの口中を可能が限用集のオスニレズが曲</b>		
要食の満れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		単位当たり	コスト等の水準は妥当か。				0	な旅費・謝金の節減に努める等、費用の節減に努めてい		
東日・使途が事業目的に即し其に必要なものに限定されているか。     日本が大きい場合、その理由は妥当か、(理由を右に記載)     日本が大きい場合、その理由は妥当か、(理由を右に記載)     日本が大きい場合、その理由は妥当か、(理由を右に記載)     日本が大きい場合、その理由は妥当か、(理由を右に記載)     日本が大きい場合、その理由は妥当か、(理由を右に記載)     日本が大きい場合、その理由は妥当か、(理由を右に記載)     日本が大きい場合、その理由は妥当か、(理由を右に記載)     日本の他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか、     「成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		資金の流れ	の中間段階での支出は合	理的なものとな	らっている	か。	-	(V)		
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を名に記載) の、京に形法の報告には関心ない。	効率	費目•使途だ	が事業目的に即し真に必要	なものに限定	されている	るか。	0	科学技術イノベーション予算戦略会議及びアクションプラン対象施策検討会開催等に必要な謝金、委員等旅費、庁費であり、真に必要なものに限定されている。		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		不用率が大	きい場合、その理由は妥当	当か。(理由を7	0	ヒヤリング日程の集約による謝金・旅費の節減、経費節減等。ただし、外部要因(他会議の開催等)に左右されるため、常に節減可能とは限らない。				
成果実験は成果目標に見合ったものとなっているか		その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか						検討会等開催の際には、有識者議員と事前に個別意見 交換を行う等、効率的な議論進行による時間・回数の縮 滅に努めている。		
的あるいは低コストで実施できているか。								対象施策に係るフォローアップを行っており、効果的・効率的に科学技術イノペーション政策の推進を図ることにつなげている。		
カ 活動実績は見込みに見合ったものであるか。	の									
関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) 所管府省・部局名 事業番号 事業名  「「「「「「「「「「「「「「「」」」」」」 「「「」」」 「」」 「「」」 「「」」 「」」 「「」」 「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「「」」 「」」 「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「」」 「「」」 「」」 「「」」 「「」」 「」」 「「」」 「」」 「「」」 「「」」 「」」 「「」」 「」」 「「」」 「」」 「「」」 「」」 「「」」 「」」 「「」」 「」」 「」」 「」」 「「」」 「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「「」」 「」」 「「」」 「」」 「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」 「	効	活動実績は	見込みに見合ったものでも	5るか。			-			
割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)   所管府名・部局名		整備された	施設や成果物は十分に活	用されているか	١,		0			
事業者号   事業名   事業者号   事業名   「一	A B				な役割分	担を行っているか。(役	-			
#	連	j	所管府省·部局名	事業番号		事業名		- - -		
		-		-	-					
### おきの	検					要な事業見直しを行うと	:ともに、会	会議ヒアリング日程の集約等による謝金や旅費の節減な		
行政事業レビュー推進チームの所見	善	改善の		見直しを図る	とともに、	会議やヒアリング日程の	)集約等(	こよる謝金や旅費の節減など、経費の効率的な執行を行		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況 備考 関連する過去のレビューシートの事業番号 平成22年度 0052 平成23年度 0048 平成24年度 0056						外部有識者の所見				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況 備考 関連する過去のレビューシートの事業番号 平成22年度 0052 平成23年度 0048 平成24年度 0056										
<b>備考</b>   関連する過去のレビューシートの事業番号   平成22年度		<u> </u>			行政事	業レビュー推進チーム	の所見			
<b>備考</b>   関連する過去のレビューシートの事業番号   平成22年度										
関連する過去のレビューシートの事業番号       平成22年度     0052     平成23年度     0048     平成24年度     0056		·		所見を	踏まえた	改善点/概算要求に	おける反	映状況		
関連する過去のレビューシートの事業番号       平成22年度     0052     平成23年度     0048     平成24年度     0056										
平成22年度 0052 平成23年度 0048 平成24年度 0056						備考				
平成22年度 0052 平成23年度 0048 平成24年度 0056				pa	油ナスツ	もまのしだっ 一さ・一し	7 車条元			
	平	成22年度	0052				ノ尹系笛			
平成25年度   0133   平成26年度   0130		成25年度	0133			0130				



		A.			E.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0
		B.			F.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
			\= 7213/			\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」に おいてブロックご						
おいてブロックご						
とに最大の金額 が支出されている 者について記載						
する。費目と使途						
する。費目と使途の双方で実情が分かるように記						
載)	計		0	計		0
	н	C.		н	G.	<u> </u>
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
			(日ガロ)			(日ガロ)
	計		0	計		0
	HI	D.		н	H.	<u> </u>
	費目	使途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
						(870)
	計			÷Τ		
	u ET		0	計		0
		ついてさらに記載が必要な場合はチェッ	クの L T Pul str 4	つ 【1一世 華	□ チェック	

## 支出先上位10者リスト

Α.	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)会議録研究所	ヒアリング時における速記	0.1	3	90%

B					
	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	サントリービバレッジサービス (株)	会議費	0	4	-

C					
	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	有識者会合出席謝金・旅費	0.1	-	-
2	個人B	有識者会合出席謝金・旅費	0.1	-	-
3	個人C	有識者会合出席謝金・旅費	0.1	-	-
4	個人D	有識者会合出席謝金・旅費	0.1	-	-
5	個人E	有識者会合出席謝金・旅費	0.1	-	-
6	個人F	有識者会合出席謝金・旅費	0.1	-	-
7	個人G	有識者会合出席謝金·旅費	0.1	_	_
8	個人H	有識者会合出席謝金·旅費	0.1	-	_
9	個人I	有識者会合出席謝金·旅費	0.1	-	_
10	個人J	有識者会合出席謝金・旅費	0.1	-	-

支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載	□ チェック
--	--------